

銀河ホール学生演劇祭2013



ドキドキぼーいず (京都)



HOME (山形・京都・大阪)



演劇活性化団体 uni (東京)

「行くから、おいでよ。」

銀河ホールで全国の学生・若者たちとまた出会う、2年目の冬。

東京から多摩美術大・日大芸術学部・東京学芸大の3大学が参加し、町内外で好評を博した昨年3月のモニタリング開催から約1年。今年は東北・関東・関西の若手劇団・学生演劇団体が西和賀町に集まります。

参加するのは「ドキドキぼーいず」(京都/京都造形芸術大学ほか)、「演劇活性化団体 uni」(東京/日大芸術学部ほか)、「HOME」(山形・京都・大阪/東北芸術工科大学ほか)の3団体。それぞれカラーのまったくちがう3団体が一週間の滞在制作を経て、2月17日(日)に銀河ホールで連続上演を行ないます。

また昨年に引き続き、上演のあとにはゲストを招いての公開ミーティングも開催されます。これから芸術文化活動と地域社会はどんなふうに関わり合い、互いに発展していくことができるのか。演劇の町・西和賀で大いに語り合しましょう。

上演会場：西和賀町文化創造館 銀河ホール

上演日時：2013年2月17日(日) 12:30開場/13:00開演

[滞在期間：2013年2月10日(日) - 18日(月)]

[同時開催]

湯田温泉峡風呂美術大学2013

風呂美術はまったく新しい入浴空間を創造するための芸術的手段である。(略)そこではお風呂と美術のあいだにいかなる脱衣所もない。(『風呂美術宣言』より抜粋)

「こんな素敵な町があるなら、美大生だって何かしたい！」——昨年8月に行なわれた「プレイ・タウン2012」に参加した学生からの要望を受けて新しいアート・プロジェクトが誕生しました。その名も「湯田温泉峡風呂美術大学」。全国の美大生たちの手によって「旅館のお風呂」を「入浴するアート」に変えてしまおうという温泉旅館と美大生による協働プロジェクトです。「どこにもない美術と湯の里との出会い」をぜひご堪能ください。

開催期間：2013年2月16日(土)・17日(日)

[滞在期間：2013年2月15日(金) - 18日(月)]

最新情報はこちら：<http://d.hatena.ne.jp/nishiwaga-SDF/>



銀河ホール学生演劇祭2013 入場料：500円 (中学生以下無料)

チケット・西和賀町へのアクセス・開催期間中の宿泊に関するお問合せ：

0197-81-1135 (湯田温泉峡旅館組合) または 0197-82-3240 (銀河ホール)

フライヤーデザイン：森陽平

企画委員：高橋繁廣(湯田温泉峡旅館組合) 高橋光世(西和賀町文化創造館 銀河ホール)

菊池啓二(ぶどう座) 高橋いくみ(西和賀町観光協会)

伊藤甲斐(湯田温泉峡旅館組合) 菅田敬(西和賀町地域おこし協力隊)

制作委員：森陽平 千田沙都 木村日未子 石原菜々子 小堀結香 佐治佑沙

染谷有紀(日本大学芸術学部)

主催：銀河ホール学生演劇合宿事業実行委員会

協力：西和賀町・西和賀町文化創造館・湯田温泉峡旅館組合・劇団ぶどう座・西和賀町観光協会
西和賀商工会

What's “銀河ホール学生演劇合宿事業”

どこにもない四季と湯の里をもつ奥羽山脈の山峡の町、岩手県和賀郡西和賀町。

「銀河ホール」はこの西和賀町に平成5年に開催された国民文化祭の会場として建設された演劇専用ホールです。338席の客席、間口12.6m奥行9mの舞台、奈落、3.6m以上の舞台袖、稽古場としても使える3つの広い楽屋まで持つこの劇場は、演劇創造の現場として限りない可能性を秘めた空間といえます。「銀河ホール」ではこれまでも地域演劇祭から国際的な演劇交流まで多岐にわたる活動を展開しており、平成21年度には総務大臣表彰「地域創造大賞」を受賞しました。更なる発展を見据えてまいりましたが、演劇活動に携わる多くの学生たちのステップアップの場として全国的な学生演劇の拠点となることを目指し、平成24年3月より学生との提携運営による劇場施設を開放した合同合宿と演劇祭を開催しています。

西和賀町文化創造館 銀河ホール

〒029-5511

岩手県和賀郡西和賀町上野々39地割195番地2

Tel. 0197-82-3240 Fax. 0197-82-2883

https://twitter.com/hall_ginga_nswg

JR北上線「ほっとゆだ」駅から徒歩4分
秋田自動車道「湯田」I.C. から車で4分

